

日本語はひとりぼっち

平成 23 年 5 月 9 日

世界には 3000 もの言語があります。方言なども認めると約 6000 語とも言われています。言語は、ある祖語から枝分かれしてその土地その土地の文化に応じて沢山の言語が生まれたと考えられます。『インド・ヨーロッパ語族』とか『アルタイ語族』とか聞いたことがあるでしょう。英語は『インド・ヨーロッパ語族』に含まれ、中国語は『シナチベット語族』のメンバーです。

さて、日本語は一体どのグループに入るのでしょうか。答えは、「孤立 (ToT) / ~~~ している」です。どの語族にも入りません。多分韓国語と同じ言語だったのに古く枝分かれしそれぞれ独立していったのでしょうか。日本が島国であることと勿論関係が深いでしょう。

アルタイ語族に近いとも考えられました。しかし、アルタイ語族は「r と l」の発音の違いがありますが日本語にはないことや、日本語（和語）は濁音が語頭に来ることが少ないなどの理由で、どうも仲間はずれになってしまったようです。

言語学的にいうと、「r と l」「b と v」の発音が同じだという言語は珍しいそうです。そんなわけで、どうも英語が苦手という日本人が多いのかもしれませんが。にもかかわらず、外来語をどんどん製造しています。オリジナルの日本語を創るより、英語音をカタカナにしてしまうほうが簡単だからでしょうか。

かつて、私が○学生だったとき、「ファーストフード」と聞いて、一番の食べ物なんだと感心していました。ところが、「早い」なのかと気づいたとき、「ファーストキッチン」ができて、早く料理が出来るんだと思いきやこちらは 1 番でした。“fast”も“first”も「ファースト」、「collect”も“correct”も「コレクト」、「ball”も“bowl”も「ボール」、「morning”も“mourning”も「モーニング」。そういえば、その昔武田鉄也主演のテレビドラマがあって、そのタイトルが『モーニング』でした。さわやかな朝の話かなと思ったのは言うまでもありません。そうです！お葬式のお話でした。

最近、インフォームドコンセントだの、コンプライアンスだの間違えようなない外来語が多いので、昔のような勘違いは起こらないかもしれませんが、わかりやすい漢語にしていただけると有難いと思うのは私だけでしょうか。